

大津市立 南郷幼稚園

日時：2022年3月2日（水）9:00-16:30

場所：滋賀県甲賀市甲南町稗谷 2838

大津市立南郷幼稚園は、「命から学ぶ教育」として生き物や植物、地域の人たちと触れ合いながら学べる保育をおこなっています。今回の研修は、幼稚園の近くにある「南郷公園」でおこないました。公開保育では、親子が一緒になって自然と遊び、楽しんでいる様子がうかがえました。公園内にある自然を活かして様々な遊びができること、季節によってさらに遊びの幅が広がることを学ぶことができました。

公開保育、座学、自然体験型保育の体験とふりかえりをおこないました。

講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

マツの葉相撲

Vの形になっているマツの落ち葉を交差させて2人で互いに持ち、一斉に自分の方へ引っ張り合い、Vの形が切れて2本の葉に分かれなかった方が勝ちという遊びです。勝負を続けていると、多くの葉っぱが1回勝っても2回目で負けてしまうこと、2回以上勝てる葉っぱがあることに気づき、勝負だけでなく「どんな葉っぱが強いのかな？」と実験する楽しみもありました。



幅広い年齢が楽しめる遊び。マツの葉がたくさん落ちていたので、何度も遊べます！

しまっちと勝負！
どちらが勝つかな…？



「どうやるの？」
「こうしたらなるかな？」
親子に自然とコミュニケーションが生まれています。

しまっちのお手本。
タケの葉っぱよりもサザンカの花びらの方が、音が
出やすい！



葉っぱと花びらの笛を吹いてみよう！

両手の親指を合わせてタケの葉っぱを挟み、合わせた指でできたすき間に、口をつけて息を吹きこむと音が鳴ります。また、サザンカの花びらの両端を持って、花びらが破れないよう口に当てて吹いても音が鳴ります。

コツをつかむまでが難しく、息を吹き込んでもなかなか音が鳴りません。どうしたら音が鳴るのか、親子で試行錯誤していました。

講義

午後からは講義がありました。自然の中で実験し、気付いたことが学びになること、滋賀県が保育の中で大切にしているポイントなどについてお話があり、その後午前中の保育の様子について感想を共有しました。また、今回の内容を踏まえた今後の保育についてグループに分かれて話し合い、それぞれの意見を発表しました。



今日の保育内容について感想

- ・今この季節でどんな遊びができるのだろうか？と思っていたが、見よう、感じようと意識を向けさせれば、いつでも（季節や天候に関わらず）どこでも自然保育はできると感じた
- ・昔、自分たちがやっていた遊び（マツの葉相撲など）も知らない子がいると気づき、みんな夢中になっている姿が印象的だった
- ・自分の考えを取っ払った新しい視点を得られた
- ・特別支援の子どももキラキラ目を輝かせていた
- ・笛が魅力的だった

今後自然体験型の保育を進めていくには？

- ・違う園と自然保育交流したり、神社へ遊びに行ったりする
- ・自分で色塗りしたレインコートを着て雨の日に遊ぶ
- ・地域を知っていないと自然保育をするのは難しそう
- ・子どもたちにとってためになる、楽しい保育につながるよう、こちら側の引き出しを増やしたい

妖精さんを見つけよう！

森や公園の中には恥ずかしがり屋な妖精さんがいて、普段は隠れていますが、顔を付けると姿を見せてくれます。笑ったり泣いたり怒ったりしている顔を木や草など植物に貼りつけ、妖精さんを見つける遊びです。最後に、どこに妖精さんがいたのかみんなで見に行きます。

今回は 2 人組になって妖精さんを探しました。注意深く観察しながら公園内を散策していると、色々な表情の木があることに気づきました。



泣き顔の妖精さん。
どんなところから「泣いている」と感じたのか、みんなに伝えます。

こちらは眠っている表情の妖精さん。
木と一緒に顔も少し傾いて、すやすやと眠っているように見えてきます。

